

# 令和5年度 緑中学校の教育について

R5年4月12日(水)

1. 学校経営の基本理念 「生徒の可能性を信じて寄り添う学校」

2. 目指す学校の姿



「生徒たちが通いたくなる学校」、「保護者が子どもを通わせたいと思う学校」、  
「職員が生徒の可能性を信じて寄り添う学校」

3. 経営の方針 「 **キーワード** チームを創る  
～共有・協働・貢献～ 」



- ① 【共有】 学校がチームとして成果をあげるためにはしっかりとした目標が必要です。その目標が『めざす学校の姿・生徒の姿』であり、そのイメージを教職員全体が『共有』することを大切にします。
- ② 【協働】 目標を共有したら、その達成のために“なすべきこと”を教職員全員で『協働』し、生徒の成長のために、学校がチームとなって教育活動を展開します。
- ③ 【貢献】 貢献を考えることにより教職員自身も学校組織も成長します。教職員個々の専門性・強みを活かし目標達成のために『貢献』します。

「共有」「協働」「貢献」を大切に、新たな教職員のチームをつくります。また、学級・学年活動を基盤とし、生徒会が中心となって生徒が主体的に活躍することにより、生徒のチームをつくるよう支援していきます。小学校との接続をさらに強め、中学校区学校運営協議会（コミュニティ・エリア）の取り組みにより、鉄北地区というチームづくりを推し進めてゆきます。

4. 緑中学校 「今年度の教育 5つの重点」

- ① 緑中学校は、生徒が、「学校に行くことが楽しい」と感じることでできる学校を目指します。
- ② 緑中学校は、生徒が、自己の成長を実感し、安心して生活できる学校を目指します。
- ③ 緑中の先生は、「話し合い活動」や「協働的な学習」の工夫など、生徒たちが学びの主体となる授業づくりを心がけます。
- ④ 緑中の先生は、生徒がタブレットを積極的に活用して学習に取り組めるような授業作りを心がけます。また、生徒が情報化社会の一員としての責任を持てるよう、デジタル・シチズンシップ教育にも取り組んでいきます。
- ⑤ 鉄北地区の小学校・中学校は、生徒が授業や家庭での学習習慣、生活習慣について困らないように連携をさらに図ります。

